

近江神宮の門松立て

平成の御代二十年の年も早くも歳晚を迎えることになりました。皆様方にはご多端のことと存じます。

近江神宮では十二月一日に一般の神社の新嘗祭にあたります初穂講大祭を終えると迎春準備の態勢になります。十二月十三日は古来正月事始めの日とされ、煤払えの日であるとともに松迎えの日でした。煤払えにはまだ早いので近江神宮では二十日に行っています。門松はこの日、楼門に立てています。

近年は、境内に植栽してある雄松・雌松を根ごと掘り起こして楼門の所に移し据え置き、竹を組み梅の枝をつけ笹や葉牡丹で飾り、年神様の降臨を待ちます。明けて小正月（一月十五日）には竹・梅等はくずして焼納しますが、松のみ再び元の場所に植え戻し一年間そこに植えておき、翌年にはまた同じ松を門松として飾り立てます。昭和四十年代以降急速に家庭の伝統行事が衰退し、歳末行事・正月行事も今や一般家庭では一部の旧家を除いて昔どおりに行うところはなくなってきました。正月事始めから小正月に至るひと月間が新年を迎えるための特別な期間で、かつては各家庭でもそれぞれの節目の行事を行ってきたものですが、今では門松はもろろん年末の大掃除すらしない家庭が増えてきています。



(右上) 近江神宮流鏝馬 騎射
(右下) 近江神宮流鏝馬 鏝矢奉献の儀

(流鏝馬は十一月三日に開催)

(上) 初穂講大祭

J A 奉仕者が献米のため参進
(十二月一日)

正月のかるた行事

一月上旬の土曜日曜日には近江神宮ならではの行事として、百人一首かるたの行事が行われます。三が日明けの最初の土曜日（二十一年は十日）、かるた名人位・クイーン位決定戦（全日本かるた協会主催）が行われ、翌日曜日、神前でのかるた祭・かるた初めの儀続いて高松宮杯かるた大会が行われます。名人位・クイーン位決定戦は二十一年にはそれぞれ第五十五回・五十三回を数えるまでになりました。高松宮杯かるた大会は第五十八回になります。

名人位・クイーン位決定戦は競技かるた日本一を決める行事としてよく知られるようになってきましたが、近江神宮ではこのほかに七月に高校選手権大会、八月には大学選手権大会が行われています。また三月には、もともと近江神宮で行われていたことにより、大津市内の別会場で小中学生選手権大会が行われています。とくに高校生大会には各県予選まで含めると百校以上の高校生が近江神宮での大会を目指して頑張っています。最近漫画にも描かれたりして若年層によく知られるようになってきました。

高市黒人歌碑の建立

近江大津宮廃都を歌った高市黒人の万葉集の歌の歌碑が十一月末、淡海万葉の会（鈴木靖将会長）により境内に建立されました。この歌碑を含めて大津にかかわる歌を刻んだ計十基の万葉歌碑が、近江神宮周辺など大津市内に来春にかけて、同会により設置されることになっています。「楽浪の国つ御神のうらさびて荒れたる京 見れば悲しも」



御鎮座記念祭 献納郁子
(十一月七日)

近江八幡市・大嶋奥津嶋神社より奉献される天智天皇が賞味されたと伝えられる特産の果物現在も同神社より宮中にも献上される（藁づとの中に実が納められ、一部が上にのせてある）

年末年始の祭典等

- 十二月十三日午前九時 門松立て
- 十二月二十日午前九時 煤払祭
- 十二月二十三日午前十時 天長節祭
- 十二月三十一日午後三時 年越大祓式
- 十二月三十一日午後三時三十分 除夜祭
- 一月一日午前〇時 歳旦祭（さいたんさい）
- 一月一日午前七時二分 初日の出遥拝式
- 一月二日午前八時三十分 日供始祭（につくはじめさい）
- 一月三日午前八時三十分 元始祭（げんしさい）
- 一月七日午前九時 昭和天皇祭遙拝式
- 一月十日午前八時三十分 天智天皇祭（天智天皇のご命日）
- 一月十日午前九時 かるた名人位クイーン位決定戦かるた祭
- 一月十一日午前十時 高松宮杯全国歌かるた大会
- 一月十五日午前十時 古神札焼納祭